

II 暮らしの向上

11 暮らしやすいまちづくり 1 にぎわいのある住みよいまちづくり

主担当部局(長)名
まちづくり推進局長 金剛 一智

目指す姿

少子高齢化に伴う社会構造の変化に対応し、県民が安心して住み続けられるよう、福祉・医療・文化施設等の地域資源を活用した地域を元気にするまちづくりを進めます。また、生活者の視点から「やすらぎ」「憩い」に配慮した空間づくりを進めます。

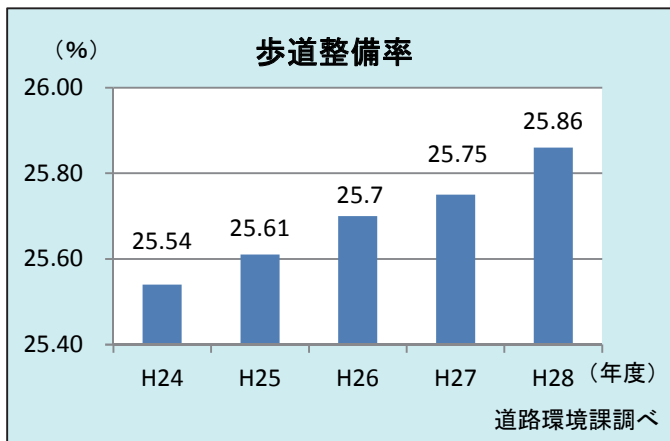


奈良・町家の芸術祭はならあと2016

これまでの成果

- ・地域の実態に応じた住生活の維持・向上を推進するため、奈良県住生活基本計画を改定しました。(H29年3月)
- ・地域の河川サポート事業「憩いの川づくりプログラム」を55団体が、河川美化愛護団体支援事業を98団体が実施しました。
- ・市町村との協働によるまちづくりを進めるため、まちづくり連携協定の締結を推進しました。(H28年度:包括協定締結数20市町村、基本協定締結数17地区、個別協定締結数9事業[累計])

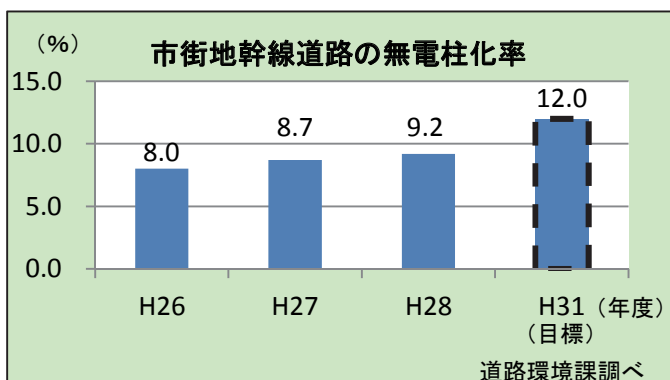
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	「やすらぎ」「憩い」に配慮した生活しやすい空間づくりを目指します。
取組	奈良県安心歩行空間整備方針により、歩道整備を推進しました。
成果	事業の推進により、平成28年度の歩道整備率は、前年度と比べて0.11ポイント増加し、25.86%となりました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<p>①多世代がいきいきと暮らしやすい川辺のまちづくりを目指します。</p> <p>②自転車の利用を促進するため、案内誘導及び注意喚起サイン整備等を進め、約600kmの広域的な自転車ネットワークの充実を目指します。(H26年度末:約460km整備済み)</p> <p>③平成31年度までに、市街地等幹線道路の無電柱化率を12%にします。(H26年度:8%)(直轄道路含む)</p>
------	--



取組	防災性の向上及び景観の観点から、市街地幹線道路等で、電線事業者や地元関係者と連携しながら、道路の無電柱化を実施しました。(③)
成果	平成22年に策定された無電柱化ガイドラインに基づき、市街地幹線道路で平成28年度に約0.6kmを整備し、無電柱化率は9.2%になりました。(直轄道路含む)